



代表取締役社長

# 兼子 広喜



▲娘が欲しかった母親に  
従妹の女の子の服を  
着せられた兼子社長

幼い頃ほととでもわんぱくで、一瞬たりともじっとしていない子どもだった。ほんの少し目を離した隙にいなくなってしまうので、迷子防止のため、首に鈴をつけられたこともある。ところが、その鈴

## 柔道に没頭した学生時代

株式会社こみケアの代表取締役社長として、2022年12月現在、260名超の従業員を率いる兼子広喜。経営者の父親のもとに生まれたが、いわゆる二世経営者ではない。学生時代に打ち込んだ柔道がきっかけで柔道整復師の道を選び、整形外科と整骨院で経験を積んできた。そして、思いがけず介護の現場に立ち、会社を立ち上げるまでには紆余曲折があったのだ。前編では、兼子が社長になるまでの道のりに迫る。

を外して放り投げ、あっという間にどこかへ走り去ってしまったという。親が手を焼く子どもではあったが、6歳上の兄は寛大だった。腕力ではとてもかなわず、兄弟喧嘩では敗北を喫する悔しさを味わったという。

一方で、設備会社の社長を務める父は忙しく、1週間に1度も顔を合わせない時期も度々あった。そして母親からは、「次男のお前には何もやりません。家を継ぐのは長男、勉強する支援だけはしてやる」と幼い頃から言い聞かせられ、「自分の将来は自分で切り拓かなくては」と、幼心に人一倍強い自立心を抱くようになった。

小学校2年生の頃、柔道のスポーツ少年団に入団。ともに稽古に励んだ仲間が良き友人でもあり、良きライバルでもあり、現在でも親交が続いている。ともに汗を流し、勝利を喜び、敗北の悔しさを噛みしめた日々は、今でも青春の1ページとして胸に刻まれている。中学校では柔道部に所属して県選抜選手に抜擢され、県大会では見事3位入賞。個人戦では東北

大会まで進出するほど優秀な成績を収めた。

## 国家資格を取得し、 社会人としての日々が スタート

高校に進学しても柔道部の門を叩き、帯を締めて稽古に励む毎日を送った。だが卒業を間近に控え、兼子を悩ませたのは進路の問題。プログラミングや航空機に興味があり、それらの専門学校への進学も視野に入れていたが、なかなか決断には至らなかった。そんな折、柔道部の先輩から勧められ



▲バンドのボーカルをしていた高校時代

たのが柔道整復師という選択だ。こうして兼子は柔道整復師の国家資格取得を目指して仙台にある専門学校へ。見事資格を手にし、整形外科「橋本クリニック」で社会人としての一步を踏み出したのである。

その後は、同じ専門学校の同級生に「一緒に働かないか？」と頼まれて、前会長の清水が経営していた整骨院グループに活躍の場を移す。その整骨院グループにて医療介護事業への展開を始め、整骨院の院長を務めながら、新規事業である認知症のデイサービス現場、そして総務・経理やデイサービス<sup>①</sup>の運営法人の運営と一人何役も担うことになったのだ。

ところが、待ち受けていたのは厳しい現実。デイサービスの現場をサポートしながら整骨院と法人の運営管理を担うのは、予想をはるかに上回る業務だった。

「認知症に対する理解が不十分で、自分の不注意で利用者の方から頭を叩かれた時はビックリしました。また制度や運営経営についても右も左もわからず、私にとっではすべてが手探りの状態だったのです」。

税理士事務所で働く旧友に「會計を教えてほしい」と頼み込んだが、返ってきたのは「本を読め！」という身もふたもない回答。独学で知識を身につけ、頭をひねりながら総務・経理の数字を打ち込んでいくしかなかった。現場も含めた仕事は深夜まで及び、気づけば時計の針が午前0時に——そんな日々が、実に5年ほど続いたという。

## 仲間たちと力を合わせ、 次のステップへ

朝から晩まで働き詰めになり、兼子の疲労は日に日に蓄積されていった。それでも不思議と、「辞めたい」というネガティブな気持ちは湧いてこなかったという。それはひとえに、ともに働く仲間たちの存在があったからだ。

「皆の力を集結させて、良い会社を作ろう！」

明るい未来を夢見て、兼子は胸を高鳴らせた。このような立上を踏まえて誕生したのが有限会社由愛。ここみケアの前身となる会社である。前任の社長、岩間がグループに誘ってくれた同級生だったの



▲同級生と同じ職場に入ってから社内旅行での1枚（21歳の頃）

だが、岩間が新たな事業へ進出していったため、そのバトンを引き継ぐ形で社長に就任し、株式会社ここみケアと法人名を改めた兼子。経営者としての新たな挑戦がいよいよ始まったのだ。

（後編に続く）

## 企業情報

設立年：1999年11月

年商：12億円

※2022年8月時点

＼ はじめよう！ ／

## 『Relationここみ』

## 創刊のお知らせ

THE FIRST ISSUE

この度、社内の新しいコミュニケーションツールとしてここみケアの社内報を発行することになりました。

その名も『Relationここみ』。Relationには「つながり」という意味が込められています。

人と人との「つながり」は組織においてもとても重要です。組織や社員とのつながりを深めることで、皆さんが働きがいを感じることができるよう、企業風土の醸成につながるよう思いを込めて制作します。

発行を楽しみに、まずは手にとってご覧ください！

## 社内報『Relationここみ』

## 発行の目的

〈1〉

新しい  
コミュニケーション  
ツールとして

〈2〉

会社や一緒に働く  
仲間のことを  
より深く知ってほしい

〈3〉

社内で活躍する  
皆さん一人ひとりのことを  
広く伝えたい



## 私たちが担当します！



人事労務課 課長

池田 幸司さん

- 出身地 新潟県十日町市
- 趣味 ゴルフ、音楽鑑賞、ドライブ
- 最近ハマっていること スポーツ観戦



この度、社内報を担当させていただくことになりました。社内報を通して情報発信をしていくことで、社員一人ひとりの帰属意識向上から組織の活性化につながるものと期待しています。今後は月ごとに様々な企画を準備していきますので、ご指名があった際には取材にご協力をお願いします！



人事労務課

佐野 紀子さん

- 出身地 宮城県仙台市
- 趣味 珍しい観葉植物探しと、そのお世話
- 最近ハマっていること 地ビールの収集



社内報担当としてここみケアで働く職員の皆さんの頑張る姿、意外な一面、思いなどなどお届けできるよう協力できればと思っております。社内報が皆さんの月に1度の楽しみになることを願っております！

ここみ訪問マッサージ仙台

# 私の事業所のココが自慢!

北は富谷、南は名取、東は石巻、西は愛子までを網羅する「ここみ訪問マッサージ仙台」。  
利用者数も増加を続け、200名突破はもう目前!  
そんな勢いのある事業所を、渡部さんにご紹介いただきました!

## 01 「ここみ訪問マッサージ仙台」 ってこんなところ!

### 国家資格者による訪問施術を広範囲で提供

主な業務は、利用者様の自宅や施設に訪問してマッサージの施術を行うことです。メンバーは施術者9名、事務1名、業務委託者1名の計11名。施術者は全員「あん摩マッサージ指圧師」という国家資格を取得しています。また、ほとんどの職員が鍼灸の資格も保持しています。1日の施術数は1人8~10件。訪問範囲は、北は富谷、南は名取、西は愛子の奥地まで。東は多賀城から石巻近辺まで。車移動も楽しみながら訪問先を回っています。

職員全員が集まる月2回の会議は、コロナの影響でリモートに。11月の防災訓練もリモートで実施しました。日々の情報共有が重要な仕事ですから、会議以外でもLINE WORKSで細かくやりとりしています。



## 02 ココが自慢!

### 職員同士の風通しの良さと休日取得のしやすさ

離職率が低いことです。今在籍している職員は、他社で施術をしていた方がほとんど。実は私も何度か転職してはいますが、「一番良い環境だな」と思っています。心がけているのは、気兼ねなく話せる雰囲気づくり。例えば「訪問ルートが1日で回るには厳しい」となればすぐに調整しています。また、休みたい日に休めるルールづくりにも力を入れています。有給はどんどん使ってほしいので、「希望日があれば早めに言ってね。確実に取れるようにするから」と職員には伝えています。

私を紹介  
します!

ここみ訪問マッサージ仙台  
管理者・課長代理  
わたなべ ゆうき  
渡部 勇樹さん



## 03 「他の事業所に負けなし!」 その魅力

### 利用者様の希望を叶える体制づくり

職員の男女比率がほぼ半数のため、利用者様の「男性に来てほしい」「女性に来てほしい」という希望を叶えやすいことは強みだと思います。ありがたいことに現在の利用者数は180~190名。200名は目前です。また、利用者様からの「体が楽になったよ」という言葉をいただけるのが、この仕事の一番の魅力。怪我とは違って変化が見えづらい中でも「楽になった」「日々の生活に変化がでてきた」という声をいただけるのは、本当に嬉しく思います。

## 04 今後の目標

### 体制強化で県内No.1を目指す

まずは職員の増員です。既存職員の現況を改善して、事業の拡大を図りたいと考えています。そして地域密着型の事業所として、まずは「県内No.1」を目指します。いずれは「東北No.1」さらには「全国No.1」を目指したいと真剣に考えています。事業所として基本となるマッサージ方法はあるのですが、職員それぞれの引き出しやバックボーンは違います。個々のスキルや技術を活かしながら、「No.1」に加えて「オンリーワン」の訪問マッサージを行うことが目標です。



ここみ訪問  
マッサージ仙台の  
皆さん

## 05 一緒に働く皆さんの メッセージ

「日本中に笑顔を創る法人になる」というビジョンを叶えるために必要なことは、小さなことを真面目に行い、自らが笑顔の多い1日を過ごすことだと思います。これからも当たり前のことをコツコツとやっていきましょう!

これやります!

# 2023年 目標宣言!

8名の方に2023年の目標宣言をしていただきました! 宣言すれば実現するかも……?



介護事業部 部長  
看護小規模多機能ここさいむら小田原 管理者  
ショートステイここさいむら小田原 管理者  
すがわら  
**菅原 ユミさん**



やれそうでやれない  
「規則正しい生活を送る」こと!

休日もいつもの時間に起き朝日を浴び体内時計をリセット。寝る3時間前には食事を終わらせるなどを実行してストレスレベルを低下させ、頭の回転を良くする。かつ規則正しい生活を送ることで自然に体量を戻すことがねらいです。

仕事

## 看多機月次売上&利益社内No.1

管理者として事業所職員と交わした目標を掲げます。達成するために1年を通じて皆さんがなりたい姿をイメージでき「精励格闘」可能な環境を整え、困難を乗り越えた先により皆さんの笑顔をつくります。

仕事

## 従業員満足度の向上

私達の仕事は、将来なくなる仕事ランキングにもある、介護&医療の仕事です。AIの普及により将来的になくなってしまいう仕事もある中、私達の仕事はAIでは実現しない細やかな配慮や繊細な変化を察知する必要性があり、人にしかできない部分を多く占めている仕事です。2025年から高齢者人口は増加傾向で推移し、ますます必要不可欠な職業になります。それに関わらず、現在でも約25万人~33万人の従事者が不足されると予測されている仕事でもあります。従業員満足度を高めると共に自分達の仕事の凄さ、素晴らしさを後世に伝えていく必要性を感じています。皆さんが「ここみケアで働いて楽しい」「学べた」「成長できた」「嬉しい」「良かった」と思う気持ちや「自分は介護の、医療のプロである」という自覚を持てるよう、取り組んでいきたいと考えています。



育成企画室 室長

かねこ のりこ  
**兼子 範子さん**



筋トレ

物忘れ、しまい忘れ、言い間違い、段差で踏くなど、様々なシーンで老化を感じます(笑)筋トレをすることで、筋肉量を増やし、体を動かすエネルギーを高め、基礎代謝の向上、血流の改善をすることで、若々しくいきいきと生活できるようになりたいと思っています(笑)



介護事業部 課長  
小規模多機能ここさいむら美の里 管理者  
しょうじ ともこ  
**庄司 智子さん**



ポールウォーキング

いや、ポールは買ったんだけどね。  
買うには買ったんだけど……。

仕事

## 一人ひとりの暮らしに寄り添うこと

自宅で暮らしている人も、入所している人も、それぞれが送ってきた暮らしがあると思います。それをできるだけ継続できるよう、柔軟に対応できるチームを作ります。

仕事

## あいさつ日本一の事業所を作る!

自らが「あいさつ」の見本となるよう誰に対しても、いつでも「立ち止まって」「笑顔で相手の目を見て」「言葉と動作を分けて」のあいさつを実行する!



## 6つに割れた腹筋にすること

最近の運動不足によりだらしないお腹になってしまっているの、それを引き締まったお腹に変えたいと常々考え中です。

介護事業部 課長  
ここさいむら泉中央  
のこう とよひろ  
**野郷 豊弘さん**





介護事業部 課長  
小規模多機能ここさいむら青山 管理者  
ここさいむらいろは 管理者  
さかの ともゆき  
**坂野 智之さん**



**家族旅行**  
(コロナが落ち着いていけば)

家族との時間を第一に考えていきたいと思っています。



**ここさいむら青山拠点全体の、  
お客様・職員・地域満足度の向上**

クレドにもある三方よしの精神を常に考えながら業務に取り組み、模範となる行動を心掛けたいと思います。



**資格取得**

業務領域が広がり、自分自身の活躍の場が増えると良いと思い、取り組もうと考えました。



管理課 課長  
あさぬま りょうへい  
**浅沼 亮平さん**

**旅行**

郷土料理、地酒、名所巡り  
などを楽しみたいです。



営業課 課長  
たかくら まさむね  
**高倉 正宗さん**



お客様(利用者)からいただいた  
問い合わせの機会を取り逃すことがないように、  
問い合わせのルールを確立すること

少しでも多くのお客様の困ったことを解消できるように、また介護で困ったことがあればこみケアに相談しようと思われるようにしたいと思っています。



**ダイエット目標-10kg**

11月に受けた健康診断の体重が過去3回の健康診断の中でも最大値になっていたためです。コロナ太り(言い訳)からダイエットを成功させ、子ども(高校2年・中学3年の女の子)に嫌われないように頑張ります!



**入職者を増やし、退職者を減少させること**

多様な求人活動を展開して、ミスマッチがないよう選考方法の改善を図ります。また、社員のやりがいにつながるような社内報の活用や、人事考課制度への理解・浸透を深めるために、クラウド型管理システムを導入していきます。



**高倉課長には負けない! 11kgのダイエットに挑戦**

入社してから10年ほど経ちましたが、当時から20kg近く太ってしまい、健康に不安を感じている今日の頃です。今年こそ生活習慣を見直し、身軽で永く健康でいられるよう頑張ります!



人事労務課 課長  
いけだ こうじ  
**池田 幸司さん**